

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 29 年 12 月 17 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	佐藤 侑太郎

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
日本、京都府、京都市動物園・京都水族館 愛知県、日本モンキーセンター
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
海外招聘者の案内補助、SAGA20
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 29 年 11 月 1 日 ~ 平成 29 年 11 月 5 日 (5 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
京都市動物園、京都水族館
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
目的 海外招聘者の京都市動物園、京都水族館への案内の補助、及び愛知県日本モンキーセンターにて開催された「第 20 回アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い (SAGA20)」に参加するため出張を行った。
行程 11 月 2 日 (木) : 海外招聘学生とともに、京都市動物園、京都水族館を訪問 11 月 4 日 (土)、5 日 (日) : SAGA20 へ参加
所感 京都市動物園・京都水族館では、スタッフの方々のご協力により充実した時間を過ごすことができました。京都水族館では、通常の展示だけでなく、普段は見るできないバックヤードも見ることができました。一方で、英会話の能力が未熟なために海外招聘学生のみなさまにご不便を感じさせる場面もあったかもしれない。今後の研鑽に努める。 SAGA20 では、SAGA の中核を担う先生方から、創設期のお話を聞くことができました。私は、ポスター発表を行った。他の発表者のポスターは、自分にとってあまりなじみのない研究内容が多く、興味深かった。他の発表者のポスター発表をゆっくり聞く余裕がなかったのは残念であった。また、参加者の中に学部生や高校生の姿も多かったのが印象的であった。



図 1. 京都市動物園のチンパンジー。チンパンジーを対象に行われている認知実験などについてお話を伺った。

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

6. その他（特記事項など）

京都市動物園、京都水族館、日本モンキーセンターのみなさまには、お忙しいところ暖かいご協力をいただきました。感謝申し上げます。